

※展示内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

1.星の和名

日本各地に伝わる星の呼び名には、くらしの道具に見たてたものが多くみられます。また、形が似ているだけでなく、節分星、麦刈り星などのように見える時期を表したものもあります。昔の人々にとつて、星はとても身近な存在だったのです。現代では、使われなくなった道具も多くなりました。昔の道具を知り、それらを使いながら星空を見上げていた人々の暮らしを想像してみましょう。

| 展示項目 | 種類 | 展示品 | 所蔵/提供元 | 備考 | |
|------------------|---------|---|--------------------------|--|--------|
| 1.星になった民具 | コーナーパネル | 星になった民具 | | | |
| | 機織りの道具 | 実物 機織りの道具：糸車 | 当館蔵 | しし座 | |
| | | 実物 機織りの道具：杼 | 当館蔵 | いるか座 | |
| | 農作業の道具 | 実物 農作業の道具：からすき | 当館蔵 | オリオン座 | |
| | | 実物 農作業の道具：たわら | 当館蔵 | かんむり座 | |
| | 暮らしの道具 | 実物 暮らしの道具：草履 | 当館蔵 | おおいぬ座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：枕 | 当館蔵 | からす座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：鼓 | 当館蔵 | オリオン座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：釜 | 当館蔵 | かんむり座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：太鼓 | 個人蔵 | かんむり座※永明縄文太鼓 | |
| | | 実物 暮らしの道具：傘 | 当館蔵 | かんむり座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：眼鏡 | 当館蔵 | ふたご座 | |
| | | 実物 暮らしの道具：かんざし | 当館蔵 | プレアデス星団 | |
| | | 実物 暮らしの道具：ひしゃく | 当館蔵 | 北斗七星 | |
| | | 実物 暮らしの道具：枡（一斗、一升、五合、一合） | 当館蔵 | プレアデス星団 | |
| | | 体験 ますを使ってはかってみよう | | 大豆1.5kg、一合枡・五合枡・一升枡 | |
| | | 体験 謎解き「一斗二升五合」読めるかな？ | | | |
| | | 体験 星の和名カード（20種） | | | |
| | 星座写真 | パネル | 星座写真：しし座 | 大西浩次氏提供 | いとかけぼし |
| | | パネル | 星座写真：いるか座 | 大西浩次氏提供 | ひぼし |
| パネル | | 星座写真：おおいぬ座 | 大西浩次氏提供 | ぞうりぼし | |
| パネル | | 星座写真：かんむり座 | 大西浩次氏提供 | かまどぼし、からかさぼし、たいこぼし、たわらぼし | |
| パネル | | 星座写真：からす座 | 大西浩次氏提供 | ほかけぼし、まくらぼし | |
| パネル | | 星座写真：オリオン座 | 大西浩次氏提供 | つづみぼし、からすきぼし | |
| パネル | | 星座写真：ふたご座 | 大西浩次氏提供 | めがねぼし | |
| パネル | | 星座写真：おうし座 | 大西浩次氏提供 | 一升星、つりがね星、かんざしぼし | |
| | | 実物 和漢三才図絵 第三巻 天象 | 当館蔵 | 「ほうき星」について書かれている。 | |
| 2.星の和名蒐集 | | パネル | 里謡に残る星と人々のくらし：すばるまんどき粉八合 | | |
| | パネル | 星と文学と野尻抱影 | | | |
| | パネル | 諏訪でみつかった「星の和名」 | | | |
| | 実物 | 新島繁編「蕎麦の諺と方言」新島文庫,1965. | 個人蔵 | 蕎麦にまつわることわざが掲載されている。「すばる（プレアデス星団）」を用いるものが多く見られる。 | |
| | 実物 | 野尻抱影『日本の星』研究社, 1936 | 三澤文庫所蔵 | 野尻が星の和名についてまとめた最初の本。初めて出会った星の和名が諏訪の矢崎才治から報告された「イッショーボシ(一升星)」、「ツリガネボシ(釣鐘星)」であると書かれている。以後、和名蒐集に注力することになる。 | |
| | 実物 | 矢崎才治が野尻抱影に宛てた手紙：野尻抱影 貼り込み帳「日本の星投稿集」 | 大佛次郎記念館所蔵 | 「一升星」と「吊鐘星」を報告した。 | |
| | 実物 | 野尻抱影 貼り込み帳「地域別星名集 昭和廿年5月」 | 大佛次郎記念館所蔵 | 〔長野・上諏訪〕ゴンゴボシ（ヒアデス？） 一升の半分しか集まっていない 諏訪郡湖東村 一小松崎氏ー | |
| | パネル | 方言研究と星の和名収集 | | | |
| | 実物 | 野尻抱影『星の方言集 日本の星』中央公論社,1957 | 個人蔵 | 諏訪の矢崎才治が「イッショーボシ(一升星)」、「ツリガネボシ(釣鐘星)」を報告したことが書かれている。また湖東村に「ゴンゴボシ(五合星)」という和名があったことも書かれている。 | |
| | 実物 | 野尻抱影『日本星名辞典』東京堂,1973 | 個人蔵 | 50年間にわたる野尻の和名蒐集研究の集大成。約900の和名が収録され、星名の採集地や採集者まで詳細に書かれている。星名と星の同定を注意深く行っていることがわかる。 | |
| | 実物 | 野尻抱影が天文月報に寄稿した記事 天文月報 第27巻 1934年8月号 日本天文学会 | 当館蔵 | 北斗七星の和名を紹介している。野尻は、天文月報に星の和名を紹介する記事を何度か寄稿している。本号のほか1935年1月号で北極星、10月号でさそり座の和名を取り上げている。 | |
| | 実物 | 越谷吾山『諸国方言 物類称呼』 | 個人蔵 | 京都大学文学部国語学国文学研究室編『物類称呼』は江戸時代に編纂された方言辞典。日本全国の方言約4000語が収められており、日本の方言研究の基礎資料である。星に関する言葉は巻一の冒頭に4語（北辰、北斗、昴、参）見られる。 | |
| 3.冥王星と野尻抱影をめぐる人々 | パネル | 冥王星に反対した諏訪の人物 | | 諏訪郡下桑原村出身の土橋八千太（1866-1965） | |
| | 実物 | 天文同好会『天文年鑑：1930年度版』新光社,1930 | 三澤文庫所蔵 | 海王星の外側に存在するとされる未知の惑星について書かれている。当時の観測・捜索の様子がうかがえる。 | |
| | 実物 | 天文同好会 編『天文年鑑：1931年度版』新光社,1931 | 三澤文庫所蔵 | 1930年1月21日、ローウェル天文台(米国)のトンボーが新惑星を発見、「PLUTO」と名付け、同年3月に公表されたと伝えている。和訳名「冥王星」が用いられている。 | |
| | 複製 | 土橋八千太によるブルーートの日本語訳についての論文： 出展：日本天文学会『天文月報』第35巻 1943年9月号 | 日本天文学会 | 第9惑星ブルーートの和名を冥府の王とするのは不適当であると土橋は述べている。 | |
| | 実物 | 神田茂記念賞受賞時の野尻抱影の寄稿文： 天文月報 1976年8月号 日本天文学会 | 当館蔵 | 1976年、野尻に日本天文学会から神田茂記念賞が贈られた。受賞に際し寄稿した記事には、アマチュア観測家の育成に尽力した神田氏との交流の思い出が綴られている。また、同賞を受賞した諏訪の変光星観測家の五味一明について書いている。 | |
| | 実物 | 神田茂記念賞メダル | 当館蔵 | 日本天文学会から贈られた神田茂記念賞のメダル。野尻抱影、五味一明を含む9名のアマチュア天文家に贈られた。展示は、五味一明に贈られたもの。 | |
| 4.天体に関することばの言語地図 | パネル | 天体に関することばの言語地図 | | | |
| | 実物 | 日本語地図「たいよう(太陽)」 | 国立国語研究所 | 国立国語研究所編『日本語地図』第6集（1974刊）より | |
| | 実物 | 日本語地図「つき(月)」 | 国立国語研究所 | 国立国語研究所編『日本語地図』第6集（1974刊）より | |
| | 複製 | 新潟県言語地図「太陽の照り方（擬態語）」 | 国立国語研究所 言語地図データベース | 大橋勝男編『新潟県言語地図』刊行年：1998年2月25日、調査時期：1980年-1985年、発行所：高志書院 | |
| | 複製 | 新潟県言語地図「星の光り方（擬態語）」 | 国立国語研究所 言語地図データベース | 大橋勝男編『新潟県言語地図』刊行年：1998年2月25日、調査時期：1980年-1985年、発行所：高志書院 | |
| | 複製 | 大阪府言語地図「太陽」 | 国立国語研究所 言語地図データベース | 岸江信介・中井精一・鳥谷善史著『大阪府言語地図』刊行年：2001年9月26日、調査時期：1990年-1993年、発行所：近畿方言研究会 | |
| | 複製 | 北九州市小倉南区方言地図「たいよう」 | 国立国語研究所 言語地図データベース | 宮本登著『北九州市小倉南区方言地図 IV』刊行年：1992年1月31日、調査時期：1982年-1984年、発行所：福岡県立小倉東高等学校郷土研究クラブ | |

2.星と星座とアステリズム/IAUによる取り決めと国内での広がり

現代の天文学では、国際的な取り決めのもと新天体命名が行われます。そのほか様々なルールが策定され、例えば惑星定義は2006年に行われました。人々は5000年も前から星座を使っていますが、星座が決められてからまだ100年ほどしか経っていません。

| 展示項目 | 種類 | 展示品 | 所蔵/提供元 | 備考 |
|-----------|---------|---------------------|--------|----|
| 1.88星座の制定 | コーナーパネル | 星と星座とアステリズム | | |
| | パネル | IAUによる88星座の制定/1923年 | | |

※展示内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

| | | | | | |
|--|-----------------------|-----|--|--------|--|
| | 明治期の天文書 | 実物 | 須藤傳治郎『星学』5版 博文館,1903 | 三澤文庫所蔵 | 明治期に日本で広まった天文学の内容を知ることができる。海外の書籍をもとにして書かれている。星座はラテン語名をカタカナで表記してある。 |
| | 大正期の天文書 | 実物 | 古川竜城『天文界之智囊』中興館書店, 1923 | 三澤文庫所蔵 | 日本国内では、中国から伝わった天文知識を古来より用いていたが、明治・大正期に西洋の知識を取り入れた。それぞれの恒星名を対比した表が掲載されている。 |
| | | 実物 | IAUによる88星座の制定を伝える記事： 天文月報 第23巻 1930年5月号 日本天文学会 | 三澤文庫所蔵 | 『星座の新画定』の記事に、星座の決定、境界線画定の経緯などが書かれ、IAUの動向を国内の天文学者・天文家に伝えている。 |
| | | パネル | 星座境界線の決定 | | |
| | | パネル | 恒星の固有名決定 | | |
| | 曲線で描かれた星座境界線 | 実物 | 山本一清『星座の親しみ』恒星社厚生閣, 1951 | 三澤文庫所蔵 | |
| | 赤経赤緯線に沿った直線で描かれた星座境界線 | 実物 | Arthur P.Norton,B.A.and J.Gall Inglis.F.R.A.S.(1966) Norton's Star Atlas and Telescopic Handbook. | 当館蔵 | 1928年のIAU決議により星座境界線が定められ、赤経赤緯線に沿った直線的なものとなった。 |
| | 86星座が扱われている天文書 | 実物 | 一戸直蔵『趣味の天文』大鑑閣, 1921.9 | 三澤文庫所蔵 | 明治43年に著した天文学の専門書『星』をもとにして一般向けに出版した。星座名には日本語訳も書かれている。現在は使われていないアルゴ座が用いられており、星座数は86個となっている。1922年のIAU決議でアルゴ座がりゅうこつ座(竜骨: Carina)、とも座(鱧: Puppis)、ほ座(帆: Vela)に分割されたことにより、星座数は88となった。 |
| | 現代の星座図書 | 実物 | Josef Klepesta,Antonin Rukl(1975) Constellations. | 当館蔵 | 各星座の範囲(濃青色)が示され、星座線も書かれている。接している星座の略号が書かれている。かんむり座α星が「ゲンマ(Gemma)」と書かれているが、2016年IAU決議で「アルフェッカ(Alphecca)」となった。 |
| | 2.アステリズムの出現と変遷 | パネル | アステリズムの出現と変遷 | | |
| | (春の大曲線) | 実物 | 山本一清『星座の話』 | 三澤文庫所蔵 | 山本一清『星座の話』 偕成社, 1942 |
| | (春の大曲線) | 実物 | 野尻抱影『星の世界』 | 三澤文庫所蔵 | 野尻抱影『星の世界』小学館,1949 |
| | | 実物 | 野尻抱影『星座巡禮』 | 三澤文庫所蔵 | 野尻抱影『星座巡禮』研究社,1925 |
| | 夏の大三角 | 実物 | 文部省科学局『星に依る方位の決め方』 | 三澤文庫所蔵 | 文部省科学局 訳『星に依る方位の決め方』誠文堂新光社,1946 |
| | ペガサスの大方形 | 実物 | 野尻抱影『日本の星 十二か月』 | 三澤文庫所蔵 | 野尻抱影『日本の星十二か月』研究社出版,1949 |
| | (冬) 一等辺三角形 | 実物 | 吉田源治郎『肉眼に見える星の研究』 | 三澤文庫所蔵 | 吉田源治郎『肉眼に見える星の研究』改版 警醒社, 1924 |
| | (冬) 正三角形 | 実物 | 野尻抱影『少国民日本の星の本』 | 個人蔵 | 野尻抱影『少国民日本の星の本』研究社, 1944 |
| | 冬空の大六角形 | 実物 | 高城武夫著『楽しい科学 星の世界』 | 三澤文庫所蔵 | 高城武夫『星の世界』文祥堂,1949 |

3.天体発見と命名/天体観測と市民科学

彗星・小惑星・新星発見における市民科学者の貢献は歴史的にみても非常に大きく、長野県内の観測者も活躍しています。また、星空の美しい信州には各地から天文家が集まり、優れた観測を行いました。天体命名からそれを探ってみましょう。

| 展示項目 | 種類 | 展示品 | 所蔵/提供元 | 備考 |
|-----------------------|---------|---|--------|--|
| 1.彗星搜索 | コーナーパネル | 天体発見と市民科学 | | |
| | パネル | 彗星発見と命名 | | |
| | パネル | 彗星の仮符号 | | |
| | パネル | 長野県内の comet ハンター | | |
| | パネル | 人物パネル：田中静人 | | 2023年度制作：SASAMI-GEO-SCIENCE |
| 高見沢今朝雄による彗星発見を伝える天文雑誌 | 実物 | 月刊天文ガイド 1984年10月号 誠文堂新光社 | 当館蔵 | 1984年7月30日、佐久の高見沢氏が新彗星を発見したことが記事になっている。スケッチには、発見時の位置・明るさなどが記録されている。この彗星は「高見沢彗星」と命名された。 |
| 高見沢今朝雄による彗星発見を伝える天文雑誌 | 実物 | 月刊天文 1984年11月号 地人書館 | 当館蔵 | 軌道計算の結果、高見沢彗星は楕円軌道を持つ短周期彗星と分かった。軌道図が掲載されており、衝(地球から見て太陽と正反対の位置)で発見されたことが分かる。 |
| 田中静人による彗星独立発見を伝える天文雑誌 | 実物 | 天文月報 第19巻 1926年1月号 日本天文学会 | 当館蔵 | ウィルク・ベルチャー彗星は1925年11月に発見された。田中氏による独立発見は12月3日であった。そのときの状況を報告した内容が掲載されている。 |
| 彗星の命名過程を解説している記事 | 実物 | 天文月報 第77巻 1984年9月号 日本天文学会 | 当館蔵 | 彗星発見後から、天文台への連絡、IAU天文電報中央局への通報、命名の過程について報告されている。 |
| スキッフ-香西彗星 | 実物 | 東京天文台木曾観測所シュミットカメラ乾板に映っていた彗星の発見を伝える天文雑誌： 天文月報 第80巻 1987年2月号 日本天文学会 | 当館蔵 | 小惑星探索を目的として撮影された写真に映っていた天体が新彗星であると確かめられたことが伝えられている。ローウェル天文台のブライアン・スキッフ氏、東京天文台木曾観測所の香西洋樹氏が確認し、「スキッフ-香西彗星」と命名された。 |
| 2.変光星・新星・超新星観測 | パネル | 変光星・新星・超新星観測 | | |
| | パネル | 変光星命名法 | | |
| | パネル | 人物パネル：五味一明 | | 2023年度制作：SASAMI-GEO-SCIENCE |
| 変光星観測用星図 | 実物 | 神田茂編『主要変光星表』第1輯～第6輯 恒星社厚生閣,1944～1950 | 当館蔵 | 変光星観測で用いる星図がまとめてあり、観測家たちが愛用した。変光星の型や特徴について解説してある。 |
| | 実物 | くじら座オミクロン星(ミラ)の星図 | 当館蔵 | 観測対象の変光星が中心になるように描かれた専用星図。◎の位置が、くじら座α星の位置。周囲の変光しない星の明るさが記載されている。それらと比較し、変光星の明るさを求める。 |
| 五味一明とかけ座新星発見 | 実物 | 五味一明とかけ座新星発見時の観測メモ | 当館蔵 | 五味は、1936年6月18日夜、皆既日食観測に訪れた北海道幌延で新星を発見した。時刻と光度が記録されている。深夜まで観測続けたことがわかる。発見を通報する際の電報文案が書かれている。 |
| | 実物 | 1936年6月に出現した新星について伝える記事： 天文月報 第29巻 1936年7月号付録 | 当館蔵 | とかけ座新星は、とかけ座とケフェウス座の境界近くに現れ、当初、「ケフェウス座新星」と呼ばれた。のちに「とかけ座新星」と改められた。 |
| | 実物 | 野尻抱影が五味一明に贈った冊子 子ども向け雑誌『銀河』新潮社,1946 | 当館蔵 | 五味が新星を発見したことについて、子ども向けに解説した記事が載っている。左下の挿絵に野尻のサインがある。とかけ座新星(とかけ座CP星)は「五味新星」と広く呼ばれたことが書かれている。 |
| 1942年とも座新星発見 | 実物 | 東京天文台回報(192)、(194) 鱧座新星 | 当館蔵 | 国内でのとも座新星発見報告状況を伝えている。 |
| | 実物 | 1942年とも座新星(Nova Pupis)の星図 | 当館蔵 | 1942年11月11日の早朝に現れた新星。国内で6人の独立発見者が現れた。 |
| | 実物 | 金森丁寿が東京天文台神田茂に宛てた新星発見を知らせる手紙 | 当館蔵 | 金森は諏訪のアマチュア天文家で小学校教師をしていた1942年11月11日5時20分に新星を発見した。国内では4番目の発見者であった。日ごろから熱心に変光星観測に取り組んでおり、位置・時刻・光度など詳細に報告している。 |
| | 実物 | 祖父江久仁子が野尻抱影に宛てた新星発見を知らせる手紙 | 当館蔵 | 当時、学生だった祖父江は、野尻を通じて星に親しんできたので、新星発見の第1報を野尻に送った。この書簡は野尻から東京天文台の神田に転送されたものと思われる。東京天文台で通報を照会した結果、祖父江が国内第1発見者(11日3時)となった。祖父江は、翌日のハイキング用の靴下を編んで夜更かしていたという。野尻はのちにこのエピソードをもとに小作品を書き、「靴下星」と呼んで紹介した。 |
| 3.小惑星搜索 | パネル | 小惑星探索と命名提案 | | |
| | パネル | 小惑星の仮符号 | | |
| 国内小惑星観測の黎明期 | 実物 | 神田茂資料 小惑星工ロス光度観測資料 | 当館蔵 | 小惑星工ロスは、1898年に発見された地球近傍小惑星である。変光星観測の手法を用いて光度を観測している。 |
| | 実物 | 神田茂 1930-31年における工ロスの光度観測： 東京天文台報 第2巻第2冊 | 当館蔵 | |

※展示内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

| | | | | |
|---------------|-----|---|---------------|--|
| | 実物 | 国内で最初に発見された小惑星「東京一番」について書かれた記事 | 当館蔵 | 天文月報 第21巻1928年9月号 1927年1月、東京天文台及川奥郎が小惑星を発見した。東京天文台では、当初仮の名称として「東京一番」と呼んでいた。 |
| | 実物 | 小惑星「東京一番」に正式名がつけられたことを知らせる記事 | 当館蔵 | 天文月報 第31巻1938年10月号 及川が発見した小惑星に命名されたことを伝えている。 |
| | 実物 | 東京天文台 神田茂が野尻抱影に宛てたハガキ | 大佛次郎記念館所蔵 | 及川氏が発見した小惑星について、名前の提案があれば知らせるよう書かれている。 |
| 信州にちなんだ名前の小惑星 | パネル | 信州にちなんだ名前の小惑星 | | |
| | パネル | プラネタリーディフェンスへの貢献 | | |
| | パネル | 入笠山天体観測所で撮影された小惑星発見写真：6416 Nyuukasayama | 平澤正規提供 | 水素増感したTP6415フィルムで撮影し、四切印画紙にプリントする。10分程度の露出をかけ(第1露出)、15分程度置いてから、再び10分程度、第2露出をかける。2枚の写真をわずかにずらして重ねると、恒星のずれとは異なるずれをもったものが見られ小惑星を検出できる。10倍程度のルーペで丹念に調べて検出した。 |
| | パネル | 入笠山天体観測所で撮影された小惑星発見写真：8100 Nobeyama | 平澤正規提供 | 30cmF2.7シュミットカメラで(6416)Nyuukasayama、(8100)Nobeyama、16cmF3.8ライトシュミットカメラで(6416)Nyuukasayama、(14425)Fujimimachiなどを発見した。 |
| | 実物 | 香西洋樹 木曾シュミット望遠鏡による小惑星掃天観測の解説記事(天文月報1983年2月号) | 当館蔵 | シュミット望遠鏡の広視野を活かして小惑星探索が行われた。 |
| | 実物 | 東京天文台木曾観測所で発見された小惑星の命名を伝える記事：天文月報 1984年11月号 | 当館蔵 | 東京天文台木曾観測所で発見された小惑星の軌道が確定し、発見者である香西洋樹・古川麟一郎の提案により命名されたと伝えている。 |
| | 実物 | 小惑星Gomi 命名記念証 | 当館蔵 | 1995年1月28日、北海道北見市で円館金と渡辺和郎によって発見された小惑星。諏訪のアマチュア天文家・五味一明の名がつけられた。 |
| | 実物 | 小惑星Huruhata 命名を伝える記事：小惑星回報(15 261) | 当館蔵 | 諏訪出身の天文学者・古畑正秋の名がつけられた。発見、命名提案の経緯について書かれている。 |
| | 実物 | 小惑星リュウグウ模型 | 公立諏訪東京理科大学 協力 | |
| 4.さまざまな天体の命名 | パネル | IAUによるさまざまな命名/系外惑星、衛星、天体の地形など | | |
| | 実物 | 月のクレーターの名前 Ball's Popular guide to the Heavens | 三澤文庫所蔵 | |
| | 実物 | 火星の地図：天文月報1976年3月号 | 当館蔵 | 望遠鏡で観察した火星の表面の様子をもとに作成された地図。現代は周回衛星や着陸した探査機の観測により、詳細な地図が作成できるようになった。 |
| | 実物 | IAUによる水星クレーターの命名について知らせる記事：天文月報 1977年1月号 日本天文学会 | 当館蔵 | 惑星探査が進み、次々と明らかになる地形の命名対応に追われている様子が伺える。水星のクレーターには、音楽家、小説家、画家などの名前が採用されていることが紹介されている。 |
| | 複製 | IAU 2019年系外惑星命名キャンペーンリーフレット | IAUサイト | IAU発足100周年を記念し、100の系外惑星系を各国に割り当て命名するキャンペーンが行われた。日本に割り当てられた系外惑星系の主星は「カムイ」、惑星は「ちゅら」と命名された。 |
| | 体験 | 月面AR:うさぎを探せ(月の表側) | | webAR作成ツール:palanAR |
| | 体験 | 月面AR:日本人の名前がついたクレーター(月の裏側) | | webAR作成ツール:palanAR |
| | 体験 | VRゴーグルでみる火星表面 | | VR制作:ライトブレイン、Hue、設置期間:7/13~8/12 |

4.現代の市民科学

近年、天文学の分野もビッグデータが扱われるようになりました。膨大なデータ収集が可能となり、解析が必要となっています。こうした新たな局面を迎え、市民科学者の活躍が再び期待されています。

| 展示項目 | 種類 | 展示品 | 所蔵/提供元 | 備考 |
|-----------|---------|-----------------------------|--------|----|
| 1.現代の市民科学 | コーナーパネル | 現代の市民科学 | | |
| | パネル | 現代の市民科学：トモエゴゼンによる天体搜索 | | |
| | パネル | 現代の市民科学：NASAによる火星の雲観察プロジェクト | | |
| | パネル | 現代の市民科学：Destiny+小惑星フェートン | | |
| | パネル | 現代の市民科学：Coias小惑星探索 | | |